

農業大学校紹介動画③実践教育編（5分版） 字幕

新時代の農業を担う！

埼玉県農業大学校における、専攻ごとの実践教育をご紹介します。

まずは、2年課程です。

2年課程には4つの学科と6つの専攻があり、それぞれ栽培する品目ごとに分かれて、学習します。

また、卒業後は大学への編入学資格が認められる、専門士の資格を得ることができることも特徴です。

「野菜学科『施設栽培専攻』」では、トマト、いちご、きゅうりを中心に、施設栽培における基本的な栽培技術を学びます。

ハウスの開閉、かん水、葉かきなどの栽培管理、収穫・出荷調整作業の実習を行います。

また、ハウス内の環境制御や炭酸ガスの使用など、先端技術も学ぶことができます。

『露地栽培専攻』では、ブロッコリーやネギ、サトイモなどの露地野菜を中心に基本的な栽培技術を学びます。

学生は播種、育苗、病害虫防除、マルチ張りや土寄せなどの実習を行います。

農業生産工程管理に基づく作業を実践し、持続可能な農業も学ぶことができます。

「水田複合学科『水田複合専攻』」では、播種作業から、収穫調製作業まで、大型農業機械を利用した水稻の栽培技術を体系的に学びます。

また、大豆や小麦の栽培についても実習するとともに、収穫した生産物を利用した味噌の加工実習を行い、醸造技術や食品衛生管理も学びます。

「花植木学科『花き専攻』」では、鉢花、切花、花壇苗の栽培技術を学びます。

シクラメンの葉組み（はぐみ）、切花の収穫・調整など、品目に応じた実践的な技術を習得します。

生産物は販売実習棟で販売するほか、市場にも出荷しています。

『植木造園専攻』では、季節に応じたマツなどの刈り込みや整枝技術を習得します。

庭園施工に必要な竹垣や石灯籠などの施工方法、植木の名称や特徴、病害虫の防除などを、樹種ごとに学びます。

また、竹材、しゅろ縄などの材料の扱いやロープワークなども習得できます。

「酪農学科『酪農専攻』」では、毎日朝夕2回、餌やりと搾乳をおこなっています。

日常の飼養管理を通して、乳牛の健康状態の確認方法や管理用具の適切な使用方法を学びます。

また、繁殖に関する理論や技術を習得することで、家畜人工授精師の資格を取得することも可能です。

続いて、1年課程の「短期農業学科」です。

「短期農業学科」には、早期の就農を目指す幅広い年齢層の学生が在籍し、1年間で集中的に農業の基礎的な技術と知識を習得します。

『短期野菜専攻』では、農作業の基礎、農業機械や農薬の使用方法、埼玉県の主要な野菜の栽培方法などを学びます。

『有機農業専攻』では、有機栽培の基礎、堆肥や緑肥による土づくりや、ぼかし肥料のつくり方、有機栽培に適した品種などを習得します。

県内の有機栽培農家を講師に迎え、実際の現場における有機栽培技術や有機JAS認証についても学びます。

校内での実習や講義のほか、県内外の先進農家などで、実際の農業経営を経験する体験学習を行います。

農業現場の第一線で活躍する先輩農家の方々とともに作業し、交流する体験は、卒業後の自分をイメージできる貴重な学習の場になっています。

そのほか、免許・資格の取得支援や、キャリアコンサルタントによる個別面談など就農や就職に向けたサポートも行っています。

実践力が身に付く、充実のカリキュラム。

皆さんもぜひ埼玉県農業大学校に入学し、農業への道を目指してみませんか。